

令和3年度 事務事業評価表 (令和2年度実績)

事務事業名		上下水道事業企画・計画業務（上水）			担当所属	上下水道局企画調整課			
基本情報	分野	7 生活基盤		事業期間	～				
	基本施策	4 水道の安定供給と下水道の充実		会計種別	水道事業会計				
	推進施策	3 上下水道施設の長寿命化・耐震化		実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	管路・浄水場等すべての水道施設							
	意図	安全で安定した水道水を供給する。							
	成果	安全で強靱な水道の持続に資することとなり、将来にわたり安定的な事業経営を実現する。							
	手段	「周南市水道事業ビジョン」「周南市水道事業施設整備基本計画」に基づき水道施設の長寿命化・耐震化計画を策定、見直しを行う。また、「水安全計画」の適正な運用・見直しにより安全性の強化を図る。							
指標	活動指標	指標名		単位	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度見込	
		計画書策定実施数		目標値	業務	3	2	2	2
				実績値	業務	3	2	2	-
		目標達成度		%	100.0	100.0	100.0	-	
コスト	(単位：千円)		平成29年度 決算	平成30年度 決算	平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算		
	トータルコスト		22,104	22,032	21,783	14,310	14,310		
	事業費		0	0	0	0	0		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		0	0	0	0	0		
	人件費合計		22,104	22,032	21,783	14,310	14,310		
正職員		22,104	22,032	21,783	14,310	14,310			
正職員以外		0	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	3.00	3.00	3.00	2.00	2.00			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
周辺環境	開始時の周辺環境								
	人口減少社会の到来、施設の老朽化								
	現状の周辺環境								
同上									
今後の予想される周辺環境									
人口減少等に伴う給水人口及び給水量の減少が顕著、施設更新需要の増大									
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A	「周南市水道事業ビジョン」「周南市水道事業施設整備基本計画」に基づき、水道施設の長寿命化・耐震化工事を実施し強靱化が図れている。また、「水安全計画」の遂行により水道水の安全性が確保できている。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		A					
	有効性	4. 計画の実施状況		A	「周南市水道事業施設整備基本計画」および「財政計画」との整合性を図るため、8月に事業計画ヒアリングを開催した。「水安全計画」の改訂を実施した。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度		A					
		6. 上位施策への貢献度		B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	財政計画と整合をとりながら適切に実施している。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		B					
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	A		所管課と連携するとともに、経営状況等も勘案しながら計画的に進めること。						
改革案	今後の実施方向性	目的（対象・意図）変更	P D C A 手法により、適切な時期を定めてフォローアップを実施する。						
	成果方向性	成果上昇							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								

令和3年度 事務事業評価表 (令和2年度実績)

事務事業名		上下水道事業企画・計画業務（下水）			担当所属	上下水道局企画調整課			
基本情報	分野	7 生活基盤		事業期間	～				
	基本施策	4 水道の安定供給と下水道の充実		会計種別	下水道事業会計				
	推進施策	3 上下水道施設の長寿命化・耐震化		実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	管渠や浄化センターなどすべての下水道施設							
	意図	下水道施設の適正な維持管理と計画的な更新を行う。							
	成果	下水道の持続的な機能確保を図る。							
	手段	下水道施設全体を俯瞰したストックマネジメント計画を平成29～30年度で策定し、計画に基づいて効率的に下水道施設の維持管理や更新を行う。							
指標	活動指標	指標名		単位	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度見込	
		計画書策定実施数		目標値	業務	2	2	1	1
				実績値	業務	2	2	0	-
		目標達成度		%	100.0	100.0	0.0	-	
コスト	(単位：千円)		平成29年度 決算	平成30年度 決算	平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算		
	トータルコスト		90,852	72,314	30,057	0	38,155		
	事業費		83,484	64,970	22,796	0	31,000		
	特定財源	国庫支出金	40,986	24,770	8,683	0	7,500		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		42,498	40,200	14,113	0	23,500		
	人件費合計		7,368	7,344	7,261	0	7,155		
	正職員		7,368	7,344	7,261	0	7,155		
正職員以外		0	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
周辺環境	開始時の周辺環境								
	人口減少社会の到来、施設の老朽化								
	現状の周辺環境								
同上									
今後の予想される周辺環境									
人口減少等に伴う有収水量の減少が顕著、施設更新需要の増大									
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A	下水道施設の機能向上と健全度を維持するために必要な業務である。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		B					
	有効性	4. 計画の実施状況		C	計画に則した改築・更新工事の実施が遅延していることから、計画業務の進捗を調整したことによる。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度		C					
		6. 上位施策への貢献度		C					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	更新工事の進捗状況により計画の見直しを実施しており、国の交付金を利用しながら適切に取り組んでいる。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		B					
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	B		所管課と連携するとともに、経営状況等も勘案しながら計画的に進めること。						
改革案	今後の実施方向性	目的（対象・意図）変更	計画的に施設の更新を進めていく						
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト増大							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								